

結 果 報 告

大会名	平成26年度第66回全日本総合ハンドボール選手権大会				
競技日	12月26日 (金)	試合番号	3-6	回戦	2回戦
種別	男子・女子	会場	枇杷島SC・愛知県体育館		
Aチーム			Bチーム		
三重バイオレットアイリス			ソニーセミコンダクタ		
得点合計	小計		小計	得点合計	
16	11	前半	8	19	
	5	後半	11		
		第1延長 (前半)			
		第1延長 (後半)			
		第2延長 (前半)			
		第2延長 (後半)			
		7mTC			

【 戦 評 】

記載者氏名

尾形 祐哉

三重バイオレットアイリスとソニーセミコンダクタの一戦は、両者速いパス回しと体を張ったディフェンスを中心とした激しい攻防の幕開けとなった。開始10分頃までは両者互角の勝負が続く。その後リードを得たのは三重であった。三重はソニーにパスミスやファールが続いたところを9番村田の速攻やサイドシュートを中心に加点した。ソニーはタイムアウトを要求し、その後7番藤田から始まる3連取があったものの、前半を11対8、三重リードで終えた。

後半も両者譲らずの展開は継続する。その拮抗した戦いの中では三重GK1番山根の2回の7mスロー阻止が会場を盛り上げた。その後ソニーが反撃を開始する。激しいオフェンスで三重に退場者が相続き、後半17分にソニーは14対14の同点に追い付いた。GK12番飛田もポストシュートを好セーブしたりと守りも引き締まった。そのままソニーの勢いは止まらず、結果は19対16でソニーの勝利。大逆転劇であった。